

# 平成30年度 4月 訓示

平成30年4月2日

礼文町長 小野 徹

## 「任怨分謗（にんえんぶんぼう）」

（大平正芳元総理）

新しいことを始めるときは誰もが諸手を挙げて賛同するものではない。時には激しく抵抗する勢力が生まれるかもしれない。しかし、自分が正しいと思ったこと、全体のために最善と思われることは、たとえ一部の人から怨みを受けようとも実行しなければならないもの。その気概を持って！

みなさん、おはようございます。いよいよ平成 30 年度の始まりであります。まず、先ほど人事異動の辞令交付をいたしました。この春は定年退職者が 4 名、また、中途退職者が 5 名と、例年よりも多くの退職者がおりましたし、今回は 4 年以上同じ部署の職員も全員異動させていただきましたので、少し大きな異動になったところではありますが、動いた人、動かなかった人とさまざまであります。いつも云うことではありますが、人事異動は動いたから意味があり、動かなかった人には意味がないということでは決してありません。3 月の議会で議決を頂きました今年度の本町の全会計当初予算 65 億 7,050 万円に昨年度から繰り越された 3 億 3,200 万円を加えますと実質で総額 69 億 270 万円という積極型の大型予算であり、皆さんが一生懸命作った予算に町民の皆さんが大きな期待をしているということでもあります。したがって、職員の皆さんには、それぞれの分野で町民のリーダーとして頑張ってもらかなければなりません。

異動には、それぞれに意味があることを認識して頂いて、早く仕事に慣れて頑張ってもらいますようお願い致します。

次に、新採用の皆さん、おめでとう。皆さんは大きな夢と希望を持って公務員の道を選ばれたわけであります。礼文島出身の方、あるいはまた礼文島で働くことを選ばれた方といらっしゃるわけであります。心から歓迎し、お祝いを申し上げます。きっと、期待に胸を膨らませていると同時にいろいろと不安な気持ちを抱えながら本日を迎えたことと思いますが、私が、皆さんに期待することはひとつであります。

それは、「公務員というのは一生を懸けるに足る職業であり、自分の人生を託するに値する仕事である。」したがって、「常に夢を描くことを忘れないで、ロマンティックで明るい考え方を持ち続けていれば、必ず未来は開けてくる。」と云うことであります。

本来、人生とは素晴らしい希望に満ちているものであります。でも、これから働いていくなかで、苦しいことや辛いことがたくさんあります。そんなときでも、「自分の人生や役場の将来を絶対に悲観的に見てはなりません。今はつらく苦しい状況にあるけれども、これからの人生は、きっと明るく開けていく。今の苦しさは、これから必ず良くなる。」

というように努めて明るい考え方をしていただきたいと思っています。

それは、不平不満を言ったり、暗く憂鬱な感情を抱いたり、ましてや人を恨んだり、憎んだり、妬<sup>ねた</sup>んだりといったネガティブな考えは、自分の人生を暗くしてしまうからであります。

先ほど代表の方が宣誓をされました。まさしく、その通りでありまして、私たちは、特定の方の利益であったり、自分自身の利益を優先したりすることがないように、より高い、また、強い倫理性が求められ、仕事をしていくうえでの公平性や常に正しいことを行っていく、ということが私たち公務員の置かれている立場でございます。だから、皆さんの身分は法律できちんと保障されるのであります。でも、身分が保証されているから何もせず、安<sup>あん</sup>穩と過ごしていいということでは決してありません。私たちの仕事は、町民の幸せのために頑張ることでございます。身分が守られていることで勘違いしてしまう。きちんと身分が守られているから、自分勝手な仕事をして良いということでもありません。

権利だけを主張して、公務員としての大事な役割を果たさない職員であってはならないと思っています。最近の風潮として「頑張ることは格好が悪い」というふうに考える方がいらっしやいます。でも、決して頑張ることは格好悪くはありません。むしろ、格好いい、とても素敵なことです。

私は、これから皆さんの周りに起きる現象はすべて、自分の心、自分の考え方が招いたものと云っても間違いのないと思っています。心の有り様で、つまり、自分の考え方次第で、人生も仕事も結果は 180 度違ったものになってしまうからでございます。とても単純なことですが、未来に希望を抱き、明るく正しく積極的に行動していくことが人生や仕事をより良くしてくれるのです。だからこそ、「公務員というのは一生を懸けるに足る職業であり、自分の人生を託するに値する仕事」なのです。これからの仕事を通して一つひとつ覚えていくこととなりますので、これ以上は申し上げませんが、いつもアンテナを高く張り、一番北の小さい島であるけれどもいろいろな情報を取り入れ、それを自分の仕事や職場、そして自分の人生に生かして頂きたいと願っています。

以上、新しく仲間になられた皆さんに心からお祝いを申し上げますとともに、若さあふれるフレッシュな感覚を発揮し、町民の幸せとわが町の活力を出して頂くことを期待しています。

さて、ここからは全ての職員に申し上げます。平成30年度の始りにあたり、冒頭、職員の皆さんはそれぞれの分野で“町づくりのリーダー”であると云うお話をいたしました。

今、新採用職員のみなさんにも心の有り様のことを少しだけお話しましたが、若い皆さんも含めて、職員の皆さんは、町民みなさんの幸せのために頑張れるリーダーになることを今一度、肝に銘じて頂きたいのであります。

そして、「任怨分謗（にんえんぶんぼう）」という言葉を知っていただきたいと思います。

この言葉は、今は亡き、大平正芳元総理の好きだった言葉でございます。 「怨<sup>うらみ</sup>を任じ、謗<sup>そしり</sup>を分かちつ」と読みますが、「新しいことを始める時は誰もが諸手を挙げてその行動に賛同するものではない。 時には、逆に激しく抵抗する勢力

が生まれるかも知れない。しかし、自分が正しいと思ったこと、全体のために最善と思われることについては、たとえ一部の人から怨みを受けようとも実行しなければならず、いったん志をともした以上は一心同体となってその怨みを分けて受ける気概がなければならないもの。

また、新しい仕事をするときは決まって大きな問題が起きるものだが、それをいちいち気にしては大きな仕事はできない。そして、攻撃を一身に受け、支えてくれる愛弟子（部下）を放って逃げてはいけない。大きな変革をめざし、新たな潮流を生むためには、こうした抵抗を恐れず、自らの志を貫く気概が必要である。」ということをおっしゃられています。

私たちの仕事は、時には大勢の人々の反感をかうような決断をくださなければならないことがあります。将来のため、全体の利益を考えなければならないからでございます。

困難は誰の上にもふりかかります。「困難なことから目をそむけたい、逃げたい」と皆、そう思うでしょう。でも、自分の困難は自分で引き受けるしかないのです。

どのような「考え方」を選ぶのかによって、自分の人生や仕事を、素晴らしいものにつくりあげることができれば、壊すことにもなります。

ですから、私は、皆さんには、どんな仕事であろうと、どんな立場であろうと、私と一緒に「<sup>うらみ</sup>怨を任じ、<sup>そしり</sup>謗を分かつ」の心、<sup>すなわ</sup>即ち「町民の幸せのために、人間として正しいことを正しいままに貫く」という考え方を持ち続けて頂きたいと願っているところでございます。

そして、何より仕事を好きになっていただきたい。仕事が好きになれば苦勞など感じません。嫌々行なっていると、どんなことでもつらく感じるものです。仕事を好きになることで、どんな苦勞の<sup>さなか</sup>最中でも「一生懸命に打ち込んでみよう」と気持ちを前向きに切り替えることができます。

全力を打ち込んでやり遂げれば、大きな達成感と自信が生まれ、次の目標へ挑戦する気持ちが生まれます。その繰り返しの中で、さらに仕事が好きになり、益々努力を重ねるようになって素晴らしい成果をあげることができるようになると云われます。



これが「真面目に一生懸命働く」と云うことであります。  
「考え方」次第で人生が変わるなど信じられないと思われるかもしれませんが、人生を、大海原を旅する航海に例えるならば、私たちが思い通りの人生を送るために、まず、自分自身が必死に自分の船を漕がなければなりません。

また、仲間の助けも必要ですが、それだけでは十分でなく遠くまで船を進めることはできません。

船が前に進むことを助けてくれる「風」を受けることで、はじめて、はるか大海原に乗り出し、航海することができるようになるのです。

このように、他からの力、海で「風」を受けるためには、私は、自分の心を「善き考え方」で美しくすることが必要だと思います。

そして、この「善き考え方」を持つことが、大海原で風を受けるための帆を張るという行為であり、まさしく、これまでも常々申し上げておりますところの「一生懸命頑張っていると誰かがそっと救いの手をさしのべてくれる」という目には見えない大きな力が働くと信じています。

冒頭、新採用職員にもお話ししたとおり、「公務員というのは一生を懸けるに足る職業であり、自分の人生を託するに値する仕事であります。」

したがって、「常に夢を描くことを忘れないで、ロマンティックで明るい考え方を持ち続けていれば、必ず未来は開けてくる。」と云うこと、これは全ての職員にも言えることであると思います。

ぜひ皆さんも、自分の船が目には見えない他からの風を満帆に受けられるような「善き考え方」を持って、素敵な町民のリーダーになって頂きたいと願っているものでございます。

結びに、繰り返して申し上げますが、今年度、本町の当初予算に補正予算を加えますと実質で総額 69 億 270 万円という積極型の大型予算であり、明るく元気な未来を切り開くため、今年も「地方創生」を果敢に進めてまいります。

また、離島における生活・経済・産業などさまざまな社会基盤を維持するため「有人国境離島法」等々を活用した取組

みも進めます。

すべての職員が「笑顔で人のために進んで頑張れる職員」  
になっていただくことを心からお願いを申し上げまして、訓  
示といたします。

平成30年度も、よろしく、お願いいたします。